

迎春

Woody News

No.388 元旦号(01.01.2017)

本年もどうぞよろしく
お願いします

2017年元旦

カントリー工房



3度目の登場 “干支のステンドパネル”

おだやかに明けた新年ですが、みなさんはすがすがしい気分でお迎えのことと存じます。昨年の日本列島は熊本や鳥取の地震、台風、大規模火災…と大きな災害が多発した一年でした。被災された方々にお見舞い申し上げます。

今年も“干支のステンドパネル”で新年のご挨拶です。このステンドパネルは1992年12月から製作を始めた“干支ステンドグラスシリーズ”です。1993年、2005年に続いて今回で3回目の出番となりました。

今年は災害の無い平穏な一年であるよう願うばかりです。カントリー工房は5日(木)まで正月休みをいただきますが、私は“事務所でゆ〜ったり別荘気分”。暖かいストーブとおいしいコーヒーでお待ちしておりますのでぜひお立ち寄りください。今年も“仕事も遊びも一生懸命”を実践しますのでイイおつきあいをいただきますよう、よろしく申し上げます。



ログハウス情報

Country Factory



サルワレ周防大島店新築工事現場から

先月号でご紹介した“海を眺める薪窯料理店”サルワレ周防大島店新築工事の現場からのご報告。ログハウジングからの1台目は予定通り、12月6日に土台とログ5～6段分が入荷、この日は初日とあって“一緒にログハウスを作ろうプロジェクト”のメンバーはなんと15人！、充の指導でそれぞれに役割分担、一日目は土台の施工くらいだろう…



とっていたが、入荷したログのほとんどを組みあげ、その後も現場は順調に進んで6日目には上棟が終わった。県道沿いの現場は見学される方が多いので工事看板を立てた。



上棟 (12月11日 撮影：一緒にログハウスを作ろうプロジェクトメンバー)

だが風が強い日はタイヘン、県道を隔てた海からの台風並みの強風で雨に備えて張ったブルーシートもすべてはがれてしまう。「車に避難してもそれさえ揺れて揺れて恐怖さえ感じる…」と店長の梅田美知朗さん。



屋根下地工事終わる (12月26日 撮影：岡部 充)

だが天気の良い日はごらんのような素晴らしい夕陽が作業の疲れを吹き飛ばしてくれる。客席から調理の様子が見えるようにする厨房の中央に設置される薪窯の煙突は外部を四角の飾り煙突にすることになり、その骨組も設置した。(写真：上右)

現場は屋根工事の途中で新年を迎え、正月休み明けから再開する。屋根が終わったら窓枠を設置してサッシの取り付け、内装工事…と3月末オープンを目指して進行する。最初はシロウト(失礼!)だけで…と聞いて不安だった工期も、この調子だと杞憂だったようである。



キャンドルナイトカフェ 2016

3回目となる『キャンドルナイトカフェ』、今年は好天に恵まれて午後から助っ人の町役場職員8名によるテント設営や会場づくり、キャンドル並べなどの準備も順調に進んだ。私は事務所に帰ってステージプログラムやプライスカードなどの製作。いつものドロナワだ。



わざわざ滋賀から来てくれた大西さんは今回は息子さんと二人連れ。

イベントは17:00スタート、町内の園芸家“ファームみずいし”さんから贈られたパンジーに囲まれたステージはWISHのクリスマスソングでオープン、ひまわりコーラスとコールみやまの歌、「みんなで歌おう」のコーナー…と、会場は終始なごやかな雰囲気だった。



食べて暖まるコーナーにはブルーベリータルトやマフィン、ピザ、コーヒー、いも煮、おむすびなどが並んだ。

今回の特別企画“花織工房(千葉・柏市): 廣瀬祐子キャンドルアート作品展”も好評でほとんどの作品が売れた。

私はサンタクロース姿で受付に座り、子どもたちにディズニー柄のミニランプやドラえもん貯金箱、らくがき帖、お菓子などを入れたクリスマスプレゼントを配った。

人出は…?というところイマイチ、最近「家庭でクリスマス」の風潮が定着したようで、悪天候だった昨年より少なかった。和蠟燭手掛け実演の大西さん親子、出展してくれた廣瀬さん、WISHとコーラスのみなさん、音響の中山さん、役場の若者、花提供の水石さん、そしておいしいコーナーのスタッフ、ありがとうございました。



